

メリットより価値・立ち位置に焦点

協会の課題を話し合い

城陽市文化芸術協会(以下協会と省略)は、折々に協会発行の広報誌「JO-BUN-KYU」や市の「広報じょうよう」の誌面にてイベントの告知や報告のほか、加盟サークルの紹介などを取り上げています。しかしながら協会自体の認知度は残念ながらそれほど高いとは言えません。

ところで、城陽市の文化芸術の振興と活性化に寄与すべく30年を超えて活動を続けるこの協会ですが、新規入会や加盟をお勧める時に「会員になつていいメリットはあるのか?」あるとしたらそれは何なのか?」とよ

ありがとう・・・ファイナーレ

和太鼓フェスに感謝

12月3日に文化パルク城陽で「京都和太鼓フェスティバル in 城陽」を開催しました。10回目の節目を迎える今回のフェスティバルには、京都府内をはじめ広島県や滋賀県など、総勢10団体が日々

の練習の成果を発揮し演奏を繰り広げ、ゲスト演奏者の「木村優一と太鼓樂団大地の会」の皆さまの心搖さる演奏は約1200人の観客を魅了しました。

2011年の「国民文化祭」をきっかけにスタートしたこのフェスティバルも今回が最後の開催です。皆さまへの「ありがとう」の気持ちを込めたファイナーレの合同演奏は、約80名による大迫力の太鼓の響きがプラムホールを包み込み、有終の美を飾ることが出来ました。

アンケートで寄せられた「毎回楽しみにしています」「継続してほしい」などの声を大変嬉しく思っています。当初の目的である城陽市に和太鼓の文化を

よく質問されます。会員にとつてのメリットも大事ですが、それよりも大事なのは協会自体の価値や立ち位置。つまり「この協会の事業はどんなふうに意義で、果たして誰を喜ばせているのか?」について考えてみるとことではないでしょうか?

ここ数ヶ月、協会の常任理事会では現在直面している問題点や課題を洗い出し、それについて話し合いを重ねています。着手できることから取り掛かることで、希望の光が見えつつある気がいたします。

(水野 永子)

「」の人イーダルパー VOL2

馬場孝司さん

6年度は3回に

ひとときコンサートに出演を

毎年7月と9月の日曜の午後、出演サークルを募り文化パラネタリウムにて開催する「ひとときコンサート」は、当協会と市民司さんにお話を伺いました。馬場さんは22歳から名古屋、のちに城陽市内各中学校の英語教員を20年以上務め、ずっと教育に携わり、最後は小学校の教頭と校長を定年の60歳まで勤め、2015年退職と同時にプラネットリウム館長に就任。それから全体のことを学ばれたと言うから驚きです。かつて校長時代に毎日全教室を二巡し視察していたというほどの持ち前の愛と情熱を發揮して、就任2年目からプラネットリウム館の活性化に向けて精力的に動き出されます。その年はヨガ、絵本の読み聞かせ、ジャズのアマチュアビッグバンドのコンサートなど、ホールの特性を生かした無料のイベントを幾つも開催。更にその翌

年には事業係を作り「星と宇宙のひろば賑わいプロジェクト」を立ち上げ、馬場さんは市からの助成金を十二分に活用すべくプライベートの時間に足繁くライブハウスに通つてアーティストやエンターテイナーを探し出し、お目当てを見つけてはファンクラブに入らなどして、有料公演への出演を交渉。次々と実を結び今では貸し館の要望も増えて更に多彩な催しが繰り広げられています。

エンタメは演者を支える裏方の尽力があつてこそ成り立つ世界。馬場さんはその一翼を担うこと得意とする正に

「おもてなし(エンターテイメント)精神」の持ち主で

バンドのコンサートなど、ホールのコンサートなどを支える

手厚いサポートに助けられた団体は数知れず、その中には当協会に加盟する団体が幾つもあります。そんな馬場さ

んもこの3月末に定年を迎えられます。後継者は、20歳代の若い女性職員の方で、馬場さん曰く「自分が出来得るすべてのスキルを彼女は持っている」とのことです。

これからのご予定は?と尋ねると、もともと多趣味を謳う馬場さんはそれらを楽しむ日々をつくり(?)過ごしたいということです。

各連盟、サークルの会員の皆さんのが独自のイベントを企画した際には気軽に協会に 대해後援申請をして下さい。

気軽に協会の

後援申請

際の注意点

後援申請の用紙は事務局にありますし、ホームページからダウンロードが可能です。役員会の承認が必要になりますので、申請はお早めに。

フェスティバルは今回で終了しますが、和太鼓連盟は春いちばん文化まつり「和太鼓響演」など地域での活動を続け、城陽市に和太鼓を響かせ続けます。

(橋本 岳司)

トは出演費の負担も無く、入場料も無料で会場の雰囲気も開放的。こんな素敵な機会を活用しない手はありません。出演サークルが少ない理由は、日程にタイミングが合わない、申し込みの機を逸し、同じジャンルのサークルの出

演が先に決まっている等々です。

協会の活性化に向けて今一度この「ひとときコンサート」を見直し

オーブンなイベントです。ところからも見下ろせるというこの広場の特徴も相まって、とても

が実際は用意した椅子に空席が実際に用意した椅子に空席

が目立つことも多く、今ひとつ盛り上がりに欠けているのが現

状。そんな中、これまで年に2回のみ実施しているところを次年度はもう1回開催を増やしてみてはどうかという案が浮上して

が殺到するでもなく一見矛盾があるようになります。これまでには出演希望者が殺到するでもなく一見矛盾が

付期間は3月1日(金)~4月18日(木)。問い合わせは協会事務局まで。

令和6年度は枠を広げて募集

趣味の体験講座

文化芸術協会の4大事業の一つである市民のための「趣味の体験講座」は、新しく始める趣味活動を求めている人に

向けての言わば「お試し『体験の絶好の機会です。これまで年に10講座を目指して実施を増やすことが決定し、市民の皆様にご活用いた

だきました。それをこの春から1年間に20講座まで実施を申し込み受付が始まっています。ところが、2月中旬の時点でまだ数件しか申し出がありません。

次年度は講師への謝礼の基準がこれまでとは変更になり

ましたので、少人数でも講師への気兼ねが軽減されるでし

ます。そして同じジャンルの

講座であつても開催時期を離すことでも問題はありません。同じ講師が違う内容の複数の講座を担当することはできませんが、一つの講座を複数日実施することも可能です。尚、実施会場はダンスなど体を動かす類はコ

ミュニティセンター、それ以外の講座は基本的に事務局2階での実施となります。サークルの会員獲得のきっかけとしてだけではなく、これから新たに立ち上げたいサークルのメンバー勧誘にも繋げられると思います。

各サークルへはそれぞれの理事から連絡が回っているはずですのでご確認いただき、ぜひ検討ください。ご質問等はお気軽

に事務局までお問い合わせください。

和太鼓響演



アンケートで寄せられた「毎回楽しみにしています」「継続してほしい」などの声を大変嬉しく思っています。当初の目的である城陽市に和太鼓の文化を

よく質問されます。会員にとつてのメリットも大事ですが、それよりも大事なのは協会自体の価値や立ち位置。つまり「この協会の事業はどんなふうに意義で、果たして誰を喜ばせているのか?」について考えてみるとことではないでしょうか?

ここ数ヶ月、協会の常任理事会では現在直面している問題点や課題を洗い出し、それについて話し合いを重ねています。着手できることから取り掛かることで、希望の光が見えつつある気がいたします。

(水野 永子)

会と省略)は、折々に協会発行の広報誌「JO-BUN-KYU」や市の「広報じょうよう」の誌面にてイベントの告知や報告のほか、加盟サークルの紹介などを取り上げています。しかしながら協会自体の認知度は残念ながらそれほど高いとは言えません。

ところで、城陽市の文化芸術の振興と活性化に寄与すべく30年を超えて活動を続けるこの協会ですが、新規入会や加盟をお勧める時に「会員になつていいメリットはあるのか?」あるとしたらそれは何なのか?」とよ

るメリットはあるのか?」あるとしたらそれは何なのか?」とよ

るメリットはあるのか?」あるとしたらそれは何のか?」とよ

るメリットはあるのか?」あるとしたらそれは何のか?」とよ

るメリットはあるのか?」あると

るメリットはあるのか?」あると